

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00461)

事務事業名称		エコスクールの推進			款	07	項	01	目	02	事業	002	整理番号	478	
現担当課名		学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	481			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成13年度													
	平成27年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	一般		
	対象	区立小・中学校の児童、生徒及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
					根拠法令等	(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	既存学校施設の緑化・エコスクール改修を計画的に進め、環境に配慮した学校運営及び学校を核とした地域の環境教育の推進を図る。			活動指標	指標名(1)		校庭芝生化実施校数							
				指標説明	指標名(2)										
				指標説明	指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	「杉並区教育ビジョン推進計画」及び「杉並区エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、学校施設の緑化(校庭・屋上・壁面)、ピオトープの整備等を実施する。			成果指標	指標名(1)		校庭芝生化面積								
				指標説明	指標名(2)										
				指標説明	指標名(2)										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	校	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	m <sup>2</sup>	285.5	200.0	264.5	200.0	259.3	200.0	129.7					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	5,605	9,801	8,382	6,800	6,378	6,800	平成27年度予算執行率(%)	93.8				
	(内)投資的経費等	6	千円	5,605	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	4,568	9,500	8,119	6,000	5,616	6,000						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.48	0.45	0.47	0.45	0.47	0.45					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,142	3,965	4,141	3,965	4,111	3,936					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	9,747	13,766	12,523	10,765	10,489	10,736						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,071,000	6,883,000	6,261,500	5,382,500	5,244,500	5,368,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	4,567	6,000	4,968	6,000	5,616	6,000					
		その他の補助金等	19	千円	11	8	8	8	15	8					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,578	6,008	4,976	6,008	5,631	6,008						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	5,169	7,758	7,547	4,757	4,858	4,728						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	478
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校庭芝生化	2	校	5,616
		その他(芝生用備品の物置、肥料の購入ほか)			762
(2) 事業実績	校庭の一部芝生化を四宮小学校、松庵小学校2校で実施しました。				
事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の校庭緑化事業(芝生化・ピオトープ整備)着手以降、平成19、20年度の二次にわたる「エコスクール化検討懇談会」報告を踏まえたエコスクール化に取り組んできました。平成24年度には、小・中学校の普通教室にエアコンが設置されたこと等を踏まえた、エコスクール事業の見直しを行い、エコスクール事業検討委員会報告を取りまとめ、以降、同報告に基づき事業を進めています。				
事業環境の変化	校庭芝生化については、保護者等から養生期間に校庭が使えないこと等に対する意見・要望などを受けています。 また、夏の暑さ対策として、早期に全校でエコスクール化を実現することの要望や、校庭・屋上・壁面緑化の維持管理へのサポート及び予算配分を求める要望があります。				
今後の予測	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき、エコスクール事業を実施していきます。				
評価と課題	「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき本事業を実施し、改築校については、みどりの創出と建物自体の工夫を行い、着実に環境改善や省エネ施設にすることが進められました。既存校については、校庭一部芝生化により環境改善と教育効果の向上が図られました。 引き続き、改築校・既存校ともに各学校の実情に合わせエコスクール事業を実施をします。実施にあたっては、学校関係者の理解と協力が不可欠であり、十分に調整を行って実施します。 新たな課題として、防災機能強化や環境学習の点から、太陽光発電と蓄電池の設置が求められ、別途事業により実施しました。これも、引き続き拡充を図ります。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	今後のエコスクール事業は、引き続き「みどりの創出」と「建物自体の工夫」を組み合わせ実施します。実施にあたっては、各学校の規模・形状など実情に即したエコスクール化を図り、教育施設の整備充実を図っていきます。 みどりの創出のうち、校庭緑化については、全小中学校の芝生化(一部分含む)を目指し整備します。屋上・壁面緑化、ピオトープについても環境学習の面で効果があり、学校の施設形態を踏まえて整備を進めていきます。 建物自体の工夫については、高気密・高断熱化と自然通風に配慮した「省エネ施設」に重点を置いて整備していきます。 また、太陽光発電・蓄電池については、関係各課と調整のうえ、各学校の形態に応じて設置し防災機能強化に取り組めます。				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00473）

事務事業名称		情報教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	488	
現担当課名		庶務課		係名		学校ICT推進担当係		連絡先電話番号		1608		昨年度整理番号		492		
上位施策No・施策名											27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成2年度		実行計画事業		目標05		施策27		計画事業04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成27年度担当課名		庶務課										事業評価区分		一般	
	対象				区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員				根拠法令等		(1)		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略（平成22年）			
											(2)		教育の情報化ビジョン（平成22年文部科学省）			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				校務のICT活用促進とともに、授業におけるICT環境整備を進め、ICT活用による、児童・生徒の学力と情報活用能力の向上を図る。				活動指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数			
										指標説明		教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数				
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）				教職員用校務パソコンの配備及び同システムの維持管理 教育用パソコン（パソコン教室、教室用パソコン、学校図書館用パソコン）の維持管理				成果指標		指標名(1)		教職員用パソコンの配備台数				
										指標説明		校務システム用クライアントパソコン（校別パソコン）の配備台数				
										指標名(2)		児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数				
										指標説明		児童・生徒の利用を専用とした情報端末1台当たりの児童・生徒数				
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1	台	1,994	1,994	1,994	2,144	2,146	2,146	100.1					
	活動指標(2)		2	人	4.0	4.0	3.7	3.7	3.3	3.3	89.2					
	成果指標(1)		3	台	1,994	1,994	1,994	2,144	2,146	2,146	100.1					
	成果指標(2)		4	人	9.0	6.9	6.3	6.8	6.3	5.8	92.6					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	553,409	653,671	641,687	728,950	715,156	785,119	平成27年度 予算執行率(%)	98.1				
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費		7	千円	81,393	116,374	114,648	109,473	108,918	166,093						
	職員数	常勤職員数		8	人	2.45	2.00	2.60	2.00	2.50	2.00					
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	21,144	17,620	22,906	17,620	21,868	17,494					
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	574,553	671,291	664,593	746,570	737,024	802,613						
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	288,141	336,655	333,296	348,214	343,441	374,004						
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	574,553	671,291	664,593	746,570	737,024	802,613							
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 488		
	内容	規模	単位数	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	校務システム用機器賃借、教育用機器賃借		576,031
		校務システム保守委託		62,329
		校務システム用専用ネットワーク網等通信費		16,665
	(2) 事業実績	校務システムの基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務処理を引き続き運用し、学籍処理の効率化と、ICT利活用に対する教員の理解を深め、意識の定着化を図りました。また、教育課題研究校に指定された小学校1校にタブレットPCを約300台整備し、児童1人がタブレットPC1台を利用できる環境を整え、デジタル教材等を活用した授業機会の拡充を図りました。		
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	H2：中学校11校コンピュータ教室設置 / H13：全校でネット接続環境整備 / H17：校務システムと図書館システムのモデル校導入 / H18：中学校教室ネット接続回線架設 / H19：小学校教室ネット接続回線架設・全校図書館システム導入・全校教室パソコン配備・全校教職員校務パソコン配備 / H20：校務システムサーバを設置し校務パソコンをクライアントとしたネットワークを構築。基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務システムを稼動 / H24：校務システム更新及び新学習指導要領に基づくシステム改修の実施 / H26：電子黒板機能付プロジェクタの整備 / H27：課題研究校に対するタブレットPCの重点配備		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	小、中学校PTA協議会から、教室や体育館のICT環境の充実と、学校に対する利活用、保守にかかる支援の拡充に関する要望が提出されています。		
	今後の予測	少人数授業による教員の増加や中学における講師や補助教員の増加などにより、各学校から校務システム用端末機の増設要望が高まっており、教職員数に応じた端末機の適正配備が求められることが見込まれます。画像や動画等の多彩なコンテンツを実装したデジタル教材の増加やICT機器を活用した授業スキルの向上により、授業用ICT機器の需要がさらに増加するとともに、情報端末のタブレットPC化により、普通教室だけでなく、校内のいずれの場所でも情報端末が活用できる無線LAN環境の整備促進が見込まれます。		
評価と課題	時数管理や児童・生徒の成績管理等において、校務システムを使った効率的な運用がなされています。今後は、改訂が予定されている学習指導要領にも対応したシステム構築に向けた検討・準備を進めていきます。全普通教室に電子黒板機能付プロジェクターが設置され、授業におけるデジタル教材の活用頻度が高まりました。これらのICT機器の更なる活用に向け、教職員研修の充実や研究指定校による研究成果の普及拡大等の取組を着実に継続・推進するとともに、ICT公開授業を実施し、保護者等とその成果を共有していきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充	
		II 事業の改善の方向性	対象外	
	今後の進め方	校務システムの導入により、校務の効率化を進めることができました。今後は、授業時に学習者情報と直接連携させる教育ネットワークを構築し、省力化だけでなく、児童・生徒への個別対応の充実を進めていきます。また、ICTを活用した授業への取組を促し、理解と意識の向上を図るとともに、求められる知識と技能を向上させるための仕組みを整えていきます。平成28年5月に閣議決定された「世界最先端IT国家創造宣言」における工程表では、「1人1台の情報端末による教育の全国的な普及・展開と教育ITシステムの標準化」、「情報端末の整備、無線LANなどの学校のIT環境の整備」、「デジタル教科書・教材の導入普及に向けた環境整備」を実施・推進していくとしています。国等の関係機関の動向に留意しつつ、最適な情報化教育の実現に向けた情報端末及びネットワーク環境の整備を推進していきます。		

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00709）

事務事業名称 学校教育への支援				款 07	項 01	目 03	事業 014	整理番号 498			
現担当課名 済美教育センター		係名 学校図書館支援担当			連絡先電話番号 4722		昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成27年度担当課名 済美教育センター							事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象 杉並区立小・中学校			根拠法令等 (1) 学校教育法第21条 (2) 学校図書館法							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 学校図書館が児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」及び学習活動を支える「学習・情報センター」として機能するために、教員と学校司書の連携による学校図書館を活用した教育活動を推進する。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		文部科学省学校図書館図書標準達成校率（小学校） 学校図書館図書標準達成校数÷区立小学校校数  文部科学省学校図書館図書標準達成校率（中学校） 学校図書館図書標準達成校数÷区立中学校校数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 学校教育を支える学校図書館の整備を進め、蔵書の充実を図る。 学校図書館を活用した教育活動の推進に向けた支援を行う。 杉並区立小・中学校に配置された学校司書の資質向上を図る。			成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		「読書が好きだ」という質問に対する児童肯定率 「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査回答（小6）  「読書が好きだ」という質問に対する生徒肯定率 「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査回答（中3）					
	区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画（目標値） 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比（%）	
	指標	活動指標（1）		1	%			70	59.5	0	85.0
活動指標（2）		2	%			70	43.5	0	62.1		
成果指標（1）		3	%			75	72.9	0	97.2		
成果指標（2）		4	%			70	67.3	0	96.1		
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円			4,413	4,122	0	平成27年度 予算執行率(%) 93.4	
	（内）投資的経費等		6	千円			0	0	0	特記事項 平成26年度以前は「学校教育への支援」に含まれていましたが、平成27年度から実行計画事業となったため、分割して評価します。 平成28年度からは「学校図書館の充実」事業に変更となるため、計画数値は入れていません。	
	（内）委託費		7	千円			0	0	0		
	職員数	常勤職員数		8	人			0.00	0.80		0.00
		再任用職員数		9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数		10	人			0.00	1.00		0.00
	人件費	常勤職員分		11	千円			0	6,998		0
		再任用職員分		12	千円			0	0		0
		非常勤職員分		13	千円			0	2,935		0
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円			4,413	14,055	0		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円			63,043	236,218	0		
	財源	受益者負担分		16	千円			0	0		0
国からの補助金等		17	千円			0	0	0			
都からの補助金等		18	千円			0	0	0			
その他の補助金等		19	千円			0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円			0	0	0			
差引：一般財源(14-20)		21	千円			4,413	14,055	0			
受益者負担比率(16÷14)		22	%			0.0	0.0	0.0			



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	498	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		学校図書館活用研究指定校事業	3	校	1,511	
		学校図書館支援パートタイマー	3	人	2,498	
		学校司書研修報償費	4	回	92	
		学校図書館関係図書費	10	冊	21	
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	「学校図書館活用研究指定校」を小学校2校、中学校1校とし、蔵書の充実と学校図書館の活用の推進を図りました。また、学校図書館を支援するため、職員及び非常勤職員によるサポートデスクが学校訪問等を行いました。杉並区立小・中学校に配置された学校司書に対しては、月1回研修を実施し、資質の向上に努めています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度から杉並区立学校への学校司書の配置を行い、平成24年度には全校への配置が完了しました。済美教育センターでは、学校図書館支援担当による支援を行い、学校図書館の整備及び活用を推進してきました。しかし、学校図書館の蔵書については買い替えや除籍を進めたこともあり、まだ国の基準値を達成していない状況です。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	学校図書館の充実については、保護者や区民から期待と要望が寄せられています。				
	今後の予測	実行計画に基づき、学校図書館の蔵書を充実していきます。冊数を増やすだけでなく、内容の見直しを行うことで、授業で活用できる図書や中学校卒業までに読んでほしい図書を充実し、学校図書館の活用につなげていきます。				
	評価と課題	<p>学校司書の全校配置により、教員との連携による学校図書館の整備と活用が進んでいます。授業での図書の利用も増えていますが、自校の蔵書だけでは足りず、杉並区立図書館からの借用等で補っています。児童・生徒の貸出冊数も増加しており、読書の質と量を向上させるためにも、蔵書の更新と整備を進めていきます。</p> <p>学校図書館活用研究指定校では、学習資料の購入や更新により、探究的な学習の計画的実施や、学年に応じた情報活用スキル指導を行うことができました。また様々な読書活動を展開し、読書の質の向上を図りました。これらの成果を基に、区内各学校での取り組みへと広げていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	平成27年度の学校図書館活用研究指定校（3校）の成果を基に、28年度は学校図書館活用モデル実践校（8校）として、更に学校図書館の整備と充実を進めていきます。また、各学校の蔵書の内容や構成を見直し、適切な廃棄と買替えによる蔵書の更新を行うことで、学校図書館の活用を推進していきます。				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00487）

事務事業名称		学校図書館の充実			款	07	項	01	目	03	事業	018	整理番号	501	
現担当課名		教育人事企画課			係名			教育人事係			連絡先電話番号	1654	昨年度整理番号	507	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成21年度													
	平成27年度担当課名	教育人事企画課			事業評価区分			一般							
	対象	杉並区立小・中学校の児童・生徒			根拠法令等	(1)	杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例								
						(2)	杉並区教育委員会非常勤職員規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備することにより、子どもたちの活発な読書活動を推進する。			活動指標	学校司書配置校数									
				指標名（1）											
				指標説明											
				指標名（2）											
				指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	学校図書館の運営体制の充実・強化を図り、学校の経営力・教育力を高めていくため、区立小・中学校に学校司書を配置する。			成果指標	学校図書館の年間平均貸出冊数（児童・生徒一人当たり）（小学校）										
				指標名（1）	学校図書館の年間貸出冊数 ÷ 児童・生徒数										
				指標説明											
				指標名（2）	学校図書館の年間平均貸出冊数（児童・生徒一人当たり）（中学校）										
				指標説明	学校図書館の年間貸出冊数 ÷ 児童・生徒数										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画							
指標	活動指標（1）	1 校	65	65	65	64	64	64	100.0						
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3 冊	35.0	36.0	38.5	36.0	40.5	39.0	112.5						
	成果指標（2）	4 冊	7.3	12.0	9.1	12.0	10.4	12.0	86.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	135,281	148,631	141,011	150,711	142,521	161,771	平成27年度 予算執行率(%)	94.6					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,945	13,215	13,215	13,215	13,121	13,121						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	148,226	161,846	154,226	163,926	155,642	174,892							
	単位当たりコスト (14-6) ÷ 1	15 円	2,280,400	2,489,938	2,372,708	2,561,344	2,431,906	2,732,688							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	148,226	161,846	154,226	163,926	155,642	174,892							
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		501	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校司書に対する報酬・旅費の支出	69	人	142,521
(2) 事業実績	その他（ ）				
	区立小・中学校全校に全校に学校司書を配置し、教員・ボランティア等との協働により、蔵書の充実や適正管理を図り、学校図書館を活用した授業や読書活動を推進しました。また平成27年度における学校図書館の1人当たり年間貸出冊数では、小学校で40.5冊、中学校で10.4冊といずれも前年を上回る数値を達成しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度から小・中学校全校に配置しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	児童・生徒、保護者及び学校から、学校司書の継続配置が求められています。			
	今後の予測	授業や読書活動など、教員と学校司書の連携による学校図書館を活用した教育活動を推進し、子どもたちの読書習慣を培う「読書センター」及び学習活動を支える「学習・情報センター」として、学校図書館の充実・強化を図るため、引き続き学校司書を区立小・中学校全校に配置していく必要があります。			
評価と課題	学校司書の配置により、学校図書館の機能充実が図られ、児童・生徒への年間貸出冊数が年々増加するとともに、学校図書館を利用した調べ学習も充実してきています。今後は、学校図書館を活用した授業や読書活動、また学校図書館機能の更なる充実のため、済美教育センター学校図書館支援担当が実施する研修等を通じて、学校司書の資質向上を図っていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	子どもたちの読書習慣を培う「読書センター」として、また学習活動を支える「学習・情報センター」として、学校図書館が今以上に機能するために、学校司書の資質の向上に努め、学校司書と教員、ボランティア等との連携・協働による、学校図書館を活用した教育活動を推進していきます。また、学校司書が中央図書館をはじめとした区立図書館と連携を強め、区立図書館蔵書の借用等、教育活動に必要な資料を充実させることにより、引き続き各学校図書館を活性化していきます。				



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00493）

事務事業名称		小学校の維持管理			款	07	項	02	目	01	事業	002	整理番号	506	
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	513	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成27年度担当課名		学校整備課			事業評価区分			施設維持管理						
	対象		区立小学校の児童及び施設設備			根拠法令等		(1) 学校教育法第5条 (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。			活動指標		指標名（1） 区立小学校の児童数 指標説明 指標名（2） 機械警備実施校数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。			成果指標		指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）		1	人	18,243	18,701	18,701	19,063	19,063	19,407	100.0				
	活動指標（2）		2	校	33	36	36	38	35	37	92.1				
	成果指標（1）		3												
	成果指標（2）		4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	94,394	98,110	94,119	114,010	111,321	100,019	平成27年度 予算執行率(%) 97.6				
	（内）投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	（内）委託費		7	千円	61,148	64,671	61,047	84,135	81,708	70,109					
	職員数	常勤職員数		8	人	67.37	62.35	62.37	55.35	55.38	49.35				
		再任用職員数		9	人	20.10	16.10	16.11	13.10	13.11	11.10				
		非常勤職員数		10	人	22.02	13.40	1.86	2.48	11.16	11.16				
	人件費	常勤職員分		11	千円	581,403	549,304	549,480	487,634	484,409	431,664				
		再任用職員分		12	千円	77,586	65,205	65,246	53,055	54,262	45,943				
		非常勤職員分		13	千円	61,216	37,922	5,264	7,018	32,755	32,755				
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	814,599	750,541	714,109	661,717	682,747	610,381					
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	44,653	40,134	38,186	34,712	35,815	31,452					
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	814,599	750,541	714,109	661,717	682,747	610,381						
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	506	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		機械警備業務委託		35	校	21,088
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）		6	校	7,743
		電気・散水設備保守点検委託		1	校	7,190
		昇降機保守点検業務委託		10	校	9,891
	その他（設備の保守委託 ほか）		65,409			
(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
今後の進め方						

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00500)

事務事業名称		小学校の施設整備			款	07	項	02	目	04	事業	001	整理番号	512	
現担当課名		営繕課			係名			管理計画係			連絡先電話番号	1553	昨年度整理番号	521	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始														
	平成27年度担当課名		営繕課			事業評価区分			一般						
	対象		区立小学校の児童・生徒、教職員及び学校施設利用者			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条					
								(2)		地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		建設時に当該施設・設備が有していた機能水準は、経年劣化により低下すると共に教育環境の変化により新たに求められる水準との乖離も起こります。低下した機能の回復や、新たに求められる水準まで機能を高めるため改修工事を行うことを目標とする。			活動指標		指標名(1)		改修工事実施校数					
							指標説明								
							指標名(2)								
							指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、大規模改修を中心とした施設・設備の整備を行う。			成果指標		指標名(1)		施設改修実施サイクル						
							指標説明		実施校数×15年÷改修までの経過年数の和						
							指標名(2)								
							指標説明								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 件(校)	19	15	15	17	18	18	105.9						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 %	66	72	74	80	84	82	105.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	526,483	562,387	539,439	502,876	477,818	451,894	平成27年度予算執行率(%)	95.0					
	(内)投資的経費等	6 千円	526,483	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	525,918	561,387	538,741	501,976	477,248	450,994							
	職員数	常勤職員数	8 人	21.74	22.74	20.00	20.00	20.00	20.00						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00						
		非常勤職員数	10 人	0.62	0.62	0.61	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	187,616	200,339	176,200	176,200	174,940	174,940						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	4,050	4,139	4,139						
		非常勤職員分	13 千円	1,724	1,755	1,726	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	715,823	764,481	717,365	683,126	656,897	630,973							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	9,965,263	50,965,400	47,824,333	40,183,882	36,494,278	35,054,056							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	715,823	764,481	717,365	683,126	656,897	630,973							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	512	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		杉並第三小学校給食室改修その他工事			
		浜田山小学校便所改修工事			67,932
		桃井第三小学校校舎外壁補修工事			67,824
		桃井第一小学校普通教室増設その他工事			47,844
		その他（堀之内小学校校舎屋上防水改修工事ほか）			194,912
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、校舎外壁補修工事、給食室改修工事、便所・排水管改修工事、照明設備改修工事、受変電設備取替工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。 今後も学校の改築時期を見極めながら、計画的かつ効果的・効率的な改修を行えるよう調整を図り工事を行います。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化などが求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策、工事騒音対策等が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るため、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。また、教育的なニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら計画的かつ効果的・効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>				





# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	513	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		小学校家庭科室及び図工室空調設備整備設計委託		14	校	3,033
(2) 事業実績	<p>次年度設置を予定している空調設備未設置の小学校の家庭科室・図工室について、設計を行いました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>教育環境を改善し、児童が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室に空調設備を設置しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>保護者などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備の整備が求められています。</p>				
	今後の予測	<p>他の特別教室についても、教育環境改善等により、空調設備整備が求められていくと予想されます。</p>				
評価と課題		<p>普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の家庭科室・図工室への整備を進めていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方		<p>「実行計画」に基づき、空調設備未設置の図工室・家庭科室に空調設備を設置します。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00504）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（新泉・和泉地区）				款 07	項 02	目 04	事業 008	整理番号 514					
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1685		昨年度整理番号 524							
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分 投資事業						
事業開始 平成22年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）								
平成27年度担当課名 学校整備課							事業評価区分 一般						
事務事業の概要	対象		新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の3校を統合し、現和泉小学校・和泉中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置します。小中一貫での連続性のある教育活動により、児童・生徒に対する教育効果の向上が図られるようにします。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	建設工事進捗率（平成25年度～平成26年度） 環境整備工事進捗率（平成27年度）							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		平成23年度 基本設計 平成23～24年度 実施設計 平成25～26年度 新校舎建設工事 平成27年度 環境整備工事		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明								
総事業費・コスト把握	区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)		
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画				
	指標	活動指標(1)		1 %	16.5	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
		活動指標(2)		2 %	0	0	0	100	100	0		100.0	
		成果指標(1)		3									
		成果指標(2)		4									
	総事業費・コスト把握	事業費		5 千円	406,042	1,587,645	1,584,975	214,304	212,201	0	平成27年度 予算執行率(%)	99.0	
		(内) 投資的経費等		6 千円	406,042	1,587,645	1,584,975	214,304	212,201	0	特記事項		
		(内) 委託費		7 千円	402,482	1,418,770	1,418,760	204,653	202,624	0	平成27年度の環境整備工事竣工をもって事業終了です。		
		職員数	常勤職員数		8 人	1.08	1.20	1.40	0.50	0.25	0.00		
			再任用職員数		9 人	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00		
			非常勤職員数		10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費	常勤職員分		11 千円	9,320	10,572	12,334	4,405	2,187	0		
			再任用職員分		12 千円	425	1,215	0	0	0	0		
			非常勤職員分		13 千円	0	0	0	0	0	0		
		総事業費 (5+11+12+13)		14 千円	415,787	1,599,432	1,597,309	218,709	214,388	0			
		単位当たりコスト (14-6)÷1		15 円	590,606	117,870	123,340	0	0	0			
		財源	受益者負担分		16 千円	0	0	0	0	0	0		
			国からの補助金等		17 千円	58,279	159,585	148,150	0	0	0		
			都からの補助金等		18 千円	0	0	0	0	20,783	0		
			その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
			特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	58,279	159,585	148,150	0	20,783	0		
差引：一般財源 (14-20)			21 千円	357,508	1,439,847	1,449,159	218,709	193,605	0				
受益者負担比率 (16÷14)		22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	514
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		環境整備工事			
		工事監理委託			2,290
		校舎解体工事			18,650
		初度備品、初度消耗品の購入			8,408
		その他(落成式、パンフレット印刷、安全対策工事ほか)			1,654
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成22年度に策定した新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画に基づいて着手してきた校舎の建設工事が平成27年3月に竣工し、翌4月に区内初の施設一体型小中一貫教育校として杉並和泉学園が開校しました。</p> <p>平成27年度は、旧・和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成(校庭芝生)、外部倉庫などの環境整備工事を実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並和泉学園は、新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の3校が、平成17年度から小中一貫教育に取り組み、学校間の連携や交流を積極的に行い、地域との連携も着実に進んでいたことから、隣接し合う和泉小学校と和泉中学校の校地を活用して3校が合同となった区内初の施設一体型の小中一貫の校舎建設を開始し、平成26年度末に建設工事が竣工しました。</p> <p>平成27年度は、旧・和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成(校庭芝生)、外部倉庫などの環境整備工事を実施しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会などから、一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしながら計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識の更なる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されました。</p>			
	今後の予測				
評価と課題		<p>建設にあたっての基本コンセプトは「繋ぐ」とし、このコンセプトのもと、小中学校の職員室、事務室、給食室、家庭科室、図書室、PCコーナー、ランチスペースなどを共有としました。</p> <p>また、特別支援学級についても普通学級同様に9年間を見通した教育が出来るよう小中両方に設置するとともに、学童クラブを学校内に新たに設けました。</p> <p>杉並和泉学園は、小・中学校の施設、組織、運営を一体化し、児童・生徒、教職員が同一の敷地・校舎で学校生活を共にしながら、義務教育9年間を通して連続した教育活動を行うことが可能となりました。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方	平成27年度実施の環境整備工事の竣工をもって事業終了。				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（0066）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 02	目 04	事業 009	整理番号 515				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 525					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事業開始 平成26年度		実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成27年度担当課名 学校整備課					事業評価区分 一般						
対象		杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)		学校教育法第5条 地方自治法第180条の2					
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）			活動指標		設計進捗率					
	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現・高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。			指標名（1） 指標説明		改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（2） 指標説明		新しい学校づくり懇談会開催回数					
	平成25年度～開校 平成27年度 平成27～28年度 平成28末～30年度 平成31年4月 平成31年度			新しい学校づくり懇談会開催 基本設計 実施設計 新校舎建設工事 新校開校 環境整備工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明					
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
指標	活動指標（1）	1	%		0	0	30	30	70		100.0
	活動指標（2）	2	回	1	8	8	7	7	8		100.0
	成果指標（1）	3									
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	63,285	平成27年度 予算執行率(%) 89.0	
	(内) 投資的経費等	6	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	63,285	特記事項 予算執行率89.0%は、基本設計委託が、設計金額に対して、落札率80.0%であったためです。	
	(内) 委託費	7	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	62,635		
	職員数	常勤職員数	8	人		0.20	0.20	2.00	1.50		2.00
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円		1,762	1,762	17,620	13,121		17,494
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		4,613	3,317	62,672	53,207	80,779		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	587,333	437,367	249,914		
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0
国からの補助金等		17	千円		0	0	0	0	0		
都からの補助金等		18	千円		0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		4,613	3,317	62,672	53,207	80,779		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	515	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		基本設計委託		100	%	19,281
		実施設計委託		5	%	20,805
		その他( )				
	(2) 事業実績	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、平成31年度の開校に向けて、平成27年度は、杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学校の施設一体型小中一貫教育校の基本設計が作成され、実施設計に着手しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら具体的な計画検討を進めてきました。懇談会での意見等を教育委員会ホームページに掲載し、また、近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布することにより、地域に対して進捗状況の周知を図るとともに、杉並区まちづくり条例に基づく説明会を平成28年1月、2月に開催しました。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、小中学生が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながらか検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、校舎の配置や大きさなどについて、近隣の住民等から要望や苦情がありました。				
	今後の予測	近隣の住民等には、新しい学校づくり(施設一体型の小中一貫教育校)や改築事業について、理解・協力を得ることができるよう対応することが求められる。				
	評価と課題	新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を聞き、高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方を整理し基本設計を進めてきました。今後は、この基本設計を基に実施設計を作成するとともに、工事期間中の仮設校舎や代替運動場などの諸課題について検討していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
	今後の進め方	平成28年度は、基本設計を基に実施設計を作成し、改築工事に着手していきます。				



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00696）

事務事業名称 杉並第一小学校の改築				款 07	項 02	目 04	事業 010	整理番号 516		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成27年度担当課名	学校整備課					事業評価区分 一般			
	対象	杉並第一小学校の児童、教職員及び学校利用者			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条			
						(2)	地方自治法第180条の2			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「区立施設再編整備計画」に基づき、杉並第一小学校の老朽改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能との複合化を図り、阿佐谷地域がより魅力のあるまちに発展していくための拠点施設を整備します。			活動指標	指標名（1）	設計進捗率			
					指標説明	改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%）				
					指標名（2）	改築・複合化検討懇談会開催回数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標説明						
	平成27年度	改築・複合化検討懇談会設置 基本計画・基本構想策定			成果指標					
	平成28年度	改築・複合化検討懇談会運営			指標名（1）					
	平成29年度	基本設計 実施設計			指標説明					
	平成30～32年度	仮設校舎等の建設 新校舎建設工事			指標名（2）					
					指標説明					
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1	%			0	0	30	0.0	
	活動指標（2）	2	回			7	7	5	100.0	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			10,462	7,576	249,669	平成27年度 予算執行率(%) 72.4	
	(内) 投資的経費等	6	千円			10,462	7,576	249,669	特記事項 予算執行率が72.4%となった主な理由は、杉並第一小学校複合施設整備に伴う地盤調査業務委託未執行等によるものです。	
	(内) 委託費	7	千円			9,587	6,930	143,232		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	2.34		2.50
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	20,468		21,868
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			10,462	28,044	271,537		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			0	0	728,933		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			10,462	28,044	271,537		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	516	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		建物等鑑定委託			
		敷地測量委託			2,160
		基本計画策定支援業務委託			600
		改築・複合化検討懇談会委員報酬の支出	7	回	458
		その他（改築・複合化検討懇談会運営 ほか）			254
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会を7回開催し、将来を見据えた杉並第一小学校の教育環境の向上を図ることを最優先とし、新たに整備する複合施設の整備方針等について意見交換を行い、平成28年3月に「杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画」を策定しました。また、改築・複合化検討懇談会ニュースを3回発行し、保護者、学校関係者、地域の方々に広く本計画の検討状況について周知を図りました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年3月に策定した「区立施設再編整備計画（第一期）、第一次実施プラン」において計画された本計画の具体化に向けた検討、周知等を進めることにより、杉並第一小学校児童・就学前児童の保護者、学校関係者、地域の方々等の理解が着実に進んできています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>基本構想・基本計画において、改築後の杉並第一小学校の校庭の広さ、日照を確保するために、屋上に校庭を設置する配置・ゾーニング計画としました。これまでの施設形態と異なる施設整備を目指すことから、児童の校庭利用時の見守りや震災時の児童の避難場所、震災救護所の機能がどう変わるか、多様な利用者が複合施設を利用することによる施設の導線、セキュリティ対策などについての意見が寄せられましたが、今後実施する新施設的设计、運用方法等により、万全な対策を講じていきます。</p>			
	今後の予測	<p>平成33年4月の新校舎開校、複合施設のオープンに向けて、杉並第一小学校児童の改築工事期間中の良好な教育環境の確保に向け、代替地での仮設校舎建設や、代替運動場の確保など様々な方策を実施しながら、基本構想・基本計画に掲げた整備コンセプト・整備方針が具体化できる施設づくりに向けて、本計画を着実に進めていきます。</p>			
評価と課題		<p>平成27年度に杉並第一小学校等複合施設的设计・工事を進めるうえでの基本構想・基本計画の策定を行い、平成28年度は施設の基本設計、改築工事期間中の教育環境確保に向けた環境整備等に着手します。杉並第一小学校の改築に合わせて複合施設整備を図る本取組は、区立施設再編整備計画の基本方針に示す、複合化・多機能化等による規模のスリム化、施設運営の効率化の視点を持った検討が必要であり、今後、建設工事費の抑制やライフサイクルコストの縮減についても検討を行いながら、設計作業を進めていきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>平成28年度は、改築・複合化検討懇談会での意見交換を軸として、保護者・学校関係者・地域の方々の意見・要望等を捉えながら、施設の基本設計を実施していきます。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00673）

事務事業名称 桃井第二小学校の改築				款 07	項 02	目 04	事業 011	整理番号 517				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1685		昨年度整理番号 526					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実							予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成27年度担当課名	学校整備課					事業評価区分 一般					
	対象	桃井第二小学校の児童、教職員及び学校関係者			根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「総合計画・実行計画」に基づき、平成27年に築50年を迎えた桃井第二小学校の改築事業を図る。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	設計進捗率 改築に係る設計進捗状況（基本設計30%・実施設計70%） 改築検討懇談会開催回数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成26年度 改築検討懇談会設置 平成27年度 改築検討懇談会運営 平成28年度 基本設計 平成29～30年度 仮設校舎建設 平成31年度 新校舎建設工事 環境整備工事			指標説明 成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	%		0	0	30	30	70	100.0		
	活動指標（2）	2	回		2	2	7	7	0	100.0		
	成果指標（1）	3										
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		249	234	38,770	35,044	317,972	平成27年度 予算執行率(%)	90.4	
	(内) 投資的経費等	6	千円		0	234	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7	千円		50	50	38,281	34,597	246,931			
	職員数	常勤職員数	8	人		0.20	0.20	2.00	2.34	2.50		
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人		0.80	0.80	1.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円		1,762	1,762	17,620	20,468	21,868		
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円		2,264	2,264	2,830	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		4,275	4,260	59,220	55,512	339,840			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	1,974,000	1,850,400	4,854,857			
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		4,275	4,260	59,220	55,512	339,840			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	517	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		桃井第二小学校校舎改築検討懇談会の開催	7	回	735	
		調査及び測量				11,869
		基本設計委託				22,440
		その他( )				
(2) 事業実績	平成26年度から引き続き、校舎改築検討懇談会を開催しました。全9回に渡る議論を経て、改築基本方針及び校舎配置・平面計画などについて懇談会としての意見をまとめました。懇談会の意見を踏まえつつ、地盤調査や測量など技術的な諸調査の結果と併せ、基本設計等を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取り組みにより、現在は新校舎の施設内容や建設工事の進め方など、計画の具体化について関心が高まっています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	桃井第二小学校の保護者だけでなく、未就学児の保護者に対する情報発信や改築期間中の運動スペース、運動時間の確保について配慮を求める意見がありました。				
	今後の予測	基本設計が終了し、改築計画を立てていく段階から、今後は仮設校舎の建設、既存施設の解体、新校舎の建設等、様々な工事を施工する段階となります。近隣関係住民には、改築事業について一層ご理解いただくよう、丁寧な対応を行うとともに、工事が与える生活環境への配慮を行う必要があります。				
評価と課題	新校舎の配置については、既存校と同配置を望む意見もありましたが、教育環境の充実、近隣周辺への配慮と影響、工事期間中の教育環境の確保など総合的な観点から、改築検討懇談会内の合意形成を図り、善福寺川沿いに建設する計画として基本設計を行いました。今後は、教育環境の充実や近隣への配慮事項を踏まえつつ、実施設計等を進めていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
	今後の進め方	平成28年度は、基本設計を基に実施設計を作成し、改築工事に着手していきます。				





# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 519

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		機械警備業務委託	22	校	14,410
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	6,069
		昇降機保守点検業務委託	9	校	8,011
		その他（設備の保守委託 ほか）			10,033
(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の強化に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00513)

事務事業名称		中学校の施設整備			款	07	項	03	目	03	事業	001	整理番号	524	
現担当課名		営繕課			係名			管理計画係			連絡先電話番号	1553	昨年度整理番号	535	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業	
事務事業の概要	事業開始														
	平成27年度担当課名		営繕課			事業評価区分			一般						
	対象		区立中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条					
								(2)		地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		建設時に当該施設・設備が有していた機能水準は、経年劣化により低下すると共に教育環境の変化により新たに求められる水準との乖離も起こります。低下した機能の回復や、新たに求められる水準まで機能を高めるため改修工事を行うことを目標とする。			活動指標		指標名(1)		改修工事実施校数					
							指標説明								
							指標名(2)								
							指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、大規模改修を中心とした施設・設備の整備を行う。			成果指標		指標名(1)		施設改修実施サイクル						
							指標説明		実施校数×1.5年÷改修までの経過年数の和						
							指標名(2)								
							指標説明								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	件(校)	13	9	11	8	9	13	112.5					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	%	71	64	79	76	86	88	113.2					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	286,466	302,083	293,450	198,700	189,032	550,121	平成27年度予算執行率(%)	95.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	286,466	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	286,466	302,083	293,450	198,700	189,032	550,121						
	職員数	常勤職員数	8	人	21.74	22.74	20.00	20.00	19.90	20.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00					
		非常勤職員数	10	人	0.62	0.62	0.61	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	187,616	200,339	176,200	176,200	174,065	174,940					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	4,050	4,139	4,139					
		非常勤職員分	13	千円	1,724	1,755	1,726	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	475,806	504,177	471,376	378,950	367,236	729,200						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	14,564,615	56,019,667	42,852,364	47,368,750	40,804,000	56,092,308						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	475,806	504,177	471,376	378,950	367,236	729,200						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	524
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		宮前中学校校舎屋上防水改修工事			70,200
		神明中学校受変電設備取替工事			35,640
		杉森中学校外1施設防火シャッター改修工事			25,898
		西宮中学校プール改修工事			23,641
		その他（東原中学校放送設備・自動火災報知設備改修工事ほか）			33,653
(2) 事業実績	学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎屋上防水工事、受変電設備設置工事、プール改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。今後も学校の改築時期を見極めながら、効果的な改修を行えるよう調整を図り、工事を行います。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行う必要がありますが、期間と経費がかかることから、改築時までの改修工事の重要性は大きくなっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	学校利用者からは、校舎の傷みが進んでおり、内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、施設面では、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、周囲の狭あい道路（二項道路）のセットバック、校庭の土埃対策とともに、工事中の安全や公害対策等が求められています。			
	今後の予測	今後、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や環境の維持・向上を図るためには、計画的に改修を行っていき、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。			
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組み、良好な教育環境の維持に努めました。また、教育的ニーズの変化や改修・改築における費用対効果等を見据えて取り組みます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、現在のローテーションで改修を行う必要があります。また、建物の耐用年数（およそ50年）を経過する校舎の増加が見込まれており、改築時期を見極めながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00668）

事務事業名称 中学校空調設備整備			款 07	項 03	目 03	事業 005	整理番号 526				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設整備係		連絡先電話番号 1682		昨年度整理番号 536					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名	学校整備課					事業評価区分	一般			
	対象	区立中学校の生徒及び施設設備		根拠法令等	(1)	学校教育法第5条					
				(2)	地方自治法第180条の2						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。		活動指標	指標名（1）	空調設備設置工事校数					
			指標説明	指標名（2）	空調設備整備設計校数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区立中学校の教室に空調設備を整備する。		指標説明								
			成果指標	指標名（1）	空調設備設置率（%）						
			指標説明		空調設備設置中学校数÷小学校数 H26・27理科室、H28・29家庭科室						
			指標名（2）								
			指標説明								
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	校	0	0	0	18	18	9	100.0	
	活動指標（2）	2	校	0	18	18	9	9	8	100.0	
	成果指標（1）	3	%	0	22	22	100	100	100	100.0	
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	0	5,300	5,238	110,664	92,791	56,368	平成27年度 予算執行率(%) 83.8  特記事項 予算執行率83.8%は、設計委託が、予算額に対して設計金額が90.6%、更に契約額が設計金額に対して、落差率92.7%であったためです。	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	5,300	5,238	110,664	92,791	56,368		
	(内) 委託費	7	千円	0	5,300	5,238	110,664	92,791	56,368		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.05	0.10	0.12		0.07
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	441	881	1,050		612
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	0	5,300	5,679	111,545	93,841	56,980		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15	円	0	0	0	48,944	58,333	68,000		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	13,826		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	13,826	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	0	5,300	5,679	111,545	80,015	56,980		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	526	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		中学校理科室空調設備整備工事		18	校	90,769
		中学校家庭科室空調設備整備設計委託		9	校	2,022
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	空調設備未設置の中学校理科室18校36室に空調設備を設置しました。また、次年度設置を予定している空調設備未設置の中学校家庭科室について、設計を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、生徒が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室空調設備の設計を行いました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備の整備が求められています。				
	今後の予測	他の特別教室についても、教育環境改善等により、空調設備整備が求められていくと予想されます。				
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。今後は、空調設備未設置の家庭科室への整備を進めていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	「実行計画」に基づき、空調設備未設置の家庭科室（被服室・調理室）に空調設備を設置します。				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00514）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（新泉・和泉地区）			款 07	項 03	目 03	事業 006	整理番号 527					
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 537						
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成22年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
	平成27年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般						
	対象	新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の3校を統合し、現和泉小学校・和泉中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置します。小中一貫での連続性のある教育活動により、児童・生徒に対する教育効果の向上が図られるようにします。			活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成25年度～平成26年度） 環境整備工事進捗率（平成27年度）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成23年度 基本設計 平成23～24年度 実施設計 平成25～26年度 新校舎建設工事 平成27年度 環境整備工事			成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	平成27年度の環境整備工事竣工をもって事業終了です。 特記事項		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	%	16.5	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	活動指標（2）	2	%	0	0	0	100	100	0		100.0	
	成果指標（1）	3										
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	406,559	1,471,675	1,469,629	207,281	205,151	0		平成27年度 予算執行率(%) 99.0	
	（内）投資的経費等	6	千円	406,559	1,471,675	1,469,629	207,281	205,151	0			
	（内）委託費	7	千円	402,853	1,418,691	1,418,680	204,653	202,624	0			
	職員数	常勤職員数	8	人	1.08	1.20	1.40	0.50	0.25		0.00	
		再任用職員数	9	人	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,320	10,572	12,334	4,405	2,187		0	
		再任用職員分	12	千円	425	0	0	0	0		0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	416,304	1,482,247	1,481,963	211,686	207,338	0			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	590,606	105,720	123,340	0	0	0			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	17	千円	58,278	159,585	148,150	0	0		0	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	20,782		0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	58,278	159,585	148,150	0	20,782	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	358,026	1,322,662	1,333,813	211,686	186,556	0			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	527
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		環境整備工事			
		工事監理委託			2,290
		校舎解体工事			18,650
		初度備品の購入			1,358
		その他(落成式、パンフレット印刷、安全対策工事ほか)			1,654
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成22年度に策定した新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画に基づいて着手してきた校舎の建設工事が平成27年3月に竣工し、翌4月に区内初の施設一体型小中一貫教育校として杉並和泉学園が開校しました。</p> <p>平成27年度は、旧・和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成(校庭芝生)、外部倉庫などの環境整備工事を実施しました。</p>			
		<p>杉並和泉学園は、新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の3校が、平成17年度から小中一貫教育に取り組み、学校間の連携や交流を積極的に行い、地域との連携も着実に進んでいたことから、隣接し合う和泉小学校と和泉中学校の校地を活用して3校が合同となった区内初の施設一体型の小中一貫の校舎建設を開始し、平成26年度末に竣工しました。</p> <p>平成27年度は、旧・和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成(校庭芝生)、外部倉庫などの環境整備工事を実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並和泉学園は、新泉小学校、和泉小学校、和泉中学校の3校が、平成17年度から小中一貫教育に取り組み、学校間の連携や交流を積極的に行い、地域との連携も着実に進んでいたことから、隣接し合う和泉小学校と和泉中学校の校地を活用して3校が合同となった区内初の施設一体型の小中一貫の校舎建設を開始し、平成26年度末に竣工しました。</p> <p>平成27年度は、旧・和泉小学校の校舎解体、グラウンド造成(校庭芝生)、外部倉庫などの環境整備工事を実施しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会などから、一体型施設を活用して小中一貫教育を実施するメリットをより明確にしながら計画を具体化すること、小学校部門と中学校部門との連携強化はもとより、学校関係者と地域住民との連帯意識の更なる向上を図ること、小中一貫教育の理念をよりよい形で具現化できるような施設の整備を行うことへの要望などが出されました。</p>			
	今後の予測				
評価と課題		<p>建設にあたっての基本コンセプトは「繋ぐ」とし、このコンセプトのもと、小中学校の職員室、事務室、給食室、家庭科室、図書室、PCコーナー、ランチスペースなどを共有としました。</p> <p>また、特別支援学級についても普通学級同様に9年間を見通した教育が出来るよう小中両方に設置するとともに、学童クラブを学校内に新たに設けました。</p> <p>杉並和泉学園は、小・中学校の施設、組織、運営を一体化し、児童・生徒、教職員が同一の敷地・校舎で学校生活を共にしながら、義務教育9年間を通して連続した教育活動を行うことが可能となりました。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
今後の進め方		平成27年度実施の環境整備工事の竣工をもって事業終了。			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00669）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 03	目 03	事業 007	整理番号 528				
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 538					
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成27年度担当課名	学校整備課					事業評価区分	一般			
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	設計進捗率 改築に係る設計進捗率（基本設計30%・実施設計70%） 新しい学校づくり懇談会開催回数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27～28年度 実施設計 平成28末～30年度 新校舎建設工事 平成31年4月 新校開校 平成31年度 環境整備工事		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明							
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	%		0	0	30	30	70	100.0	
	活動指標(2)	2	回	1	8	8	7	7	8	100.0	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	63,285	平成27年度 予算執行率(%) 89.0	
	(内) 投資的経費等	6	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	63,285	特記事項 予算執行率89.0%は、基本設計委託が設計金額に対して、落差率80.0%であったためです。	
	(内) 委託費	7	千円		2,851	1,555	45,052	40,086	62,635		
	職員数	常勤職員数	8	人		0.20	0.20	2.00	1.50		2.00
		再任用職員数	9	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人		0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円		1,762	1,762	17,620	13,121		17,494
		再任用職員分	12	千円		0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円		0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円		4,613	3,317	62,672	53,207	80,779		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円		0	0	587,333	437,367	249,914		
	財源	受益者負担分	16	千円		0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円		0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円		0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円		0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円		0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円		4,613	3,317	62,672	53,207	80,779		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	528	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		基本設計委託		100	%	19,281
		実施設計委託		5	%	20,805
		その他（ ）				
	(2) 事業実績	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、平成31年度の開校に向けて、平成27年度は、杉並第四小学校、杉並第八小学校、高円寺中学校の施設一体型小中一貫教育校の基本設計が作成され、実施設計に着手しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら具体的な計画検討を進めてきました。懇談会での意見等を教育委員会ホームページに掲載し、また、近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布することにより、地域に対して進捗状況の周知を図るとともに、杉並区まちづくり条例に基づく説明会を平成28年1月、2月に開催しました。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、小中学生が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしながらか検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、校舎の配置や大きさなどについて、近隣の住民等から要望や苦情がありました。				
	今後の予測	近隣の住民等には、新しい学校づくり（施設一体型の小中一貫教育校）や改築事業について、理解・協力を得ることができるよう対応することが求められる。				
	評価と課題	新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を聞き、高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方を整理し基本設計を進めてきました。今後は、この基本設計を基に実施設計を作成するとともに、工事期間中の仮設校舎や代替運動場などの諸課題について検討していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	平成28年度は、基本設計を基に実施設計を作成し、改築工事に着手していきます。					